

母趾先端



貼付領域 遠位端：足趾先端まで貼付する 近位端：踵は貼付しなくてもよい
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域を含めて母趾部をすべてくり抜く

ポイント ・踵に貼付しないことで接地が安定し、ずれにくく、前足部の免荷効果が得られやすい。

足の特徴 ・母趾MTP関節の伸展可動域制限

第2～5趾（写真は第3趾先端例）

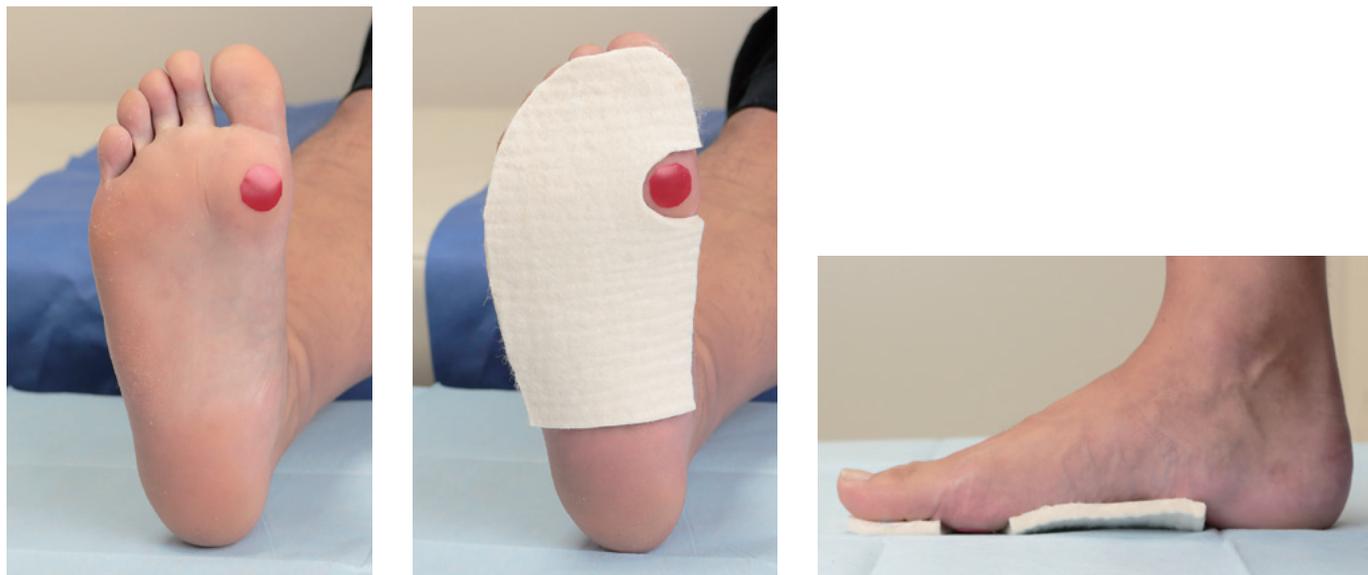


貼付領域 遠位端：足趾先端まで貼付する 近位端：踵は貼付しなくてもよい
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域を含めて当該足趾部をすべてくり抜く

ポイント ・踵に貼付しないことで接地が安定し、ずれにくく、前足部の免荷効果が得られやすい。
 ・複数趾潰瘍に対しては免荷効果が得られにくいため注意を要する。

足の特徴 ・マレットトゥ変形 ・ハンマー／クロウトゥ変形

第1 中足骨骨頭部



貼付領域 遠位端：足趾先端まで貼付する 近位端：踵は貼付しなくてもよい
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く

ポイント

- ・踵に貼付しないことで接地が安定し、ずれにくく、前足部の免荷効果が得られやすい。
- ・免荷効果を高めるために足趾先端まですべて貼付する。

足の特徴

- ・凹足 ・足関節背屈可動域制限 ・**重度の扁平足***

第2～4中足骨骨頭部 (写真は第2中足骨骨頭部例)



貼付領域 遠位端：趾溝のラインまでとし足趾には貼付貼付しなくてもよい 近位端：踵は貼付しなくてもよい
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く

ポイント

- ・踵に貼付しないことで接地が安定し、ずれにくく、前足部の免荷効果が得られやすい

足の特徴

- ・クロウトゥ変形 ・趾関節脱臼 (MTP関節脱臼) ・足関節背屈可動域制限 ・扁平足* ・**重度の外反母趾**

第5中足骨骨頭部



貼付領域
免荷領域

遠位端：足趾先端まですべて貼付する
潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く

近位端：踵は貼付しなくてもよい

ポイント

- ・踵に貼付しないことで接地が安定し、ずれにくく、前足部の免荷効果が得られやすい。
- ・免荷効果を高めるために足趾先端まですべて貼付する。また前足部足底の中では比較的免荷が得られにくい部位のため、下腿まで覆う免荷装具の併用を考慮する。

足の特徴

- ・内反足 ・凹足 ・足関節背屈可動域制限 ・趾関節脱臼 (MTP関節脱臼)

第5中足骨基部



貼付領域
免荷領域

遠位端：趾溝のラインまでとし足趾には貼付しない

近位端：踵まで貼付する

潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く

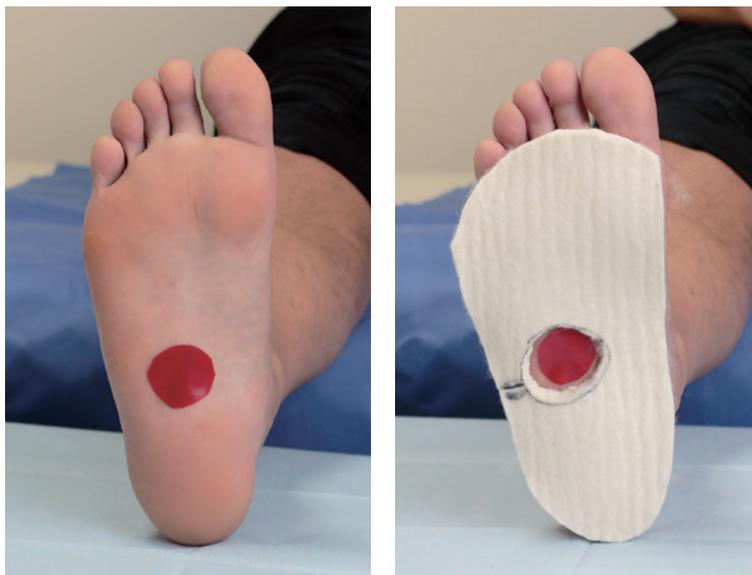
ポイント

- ・下腿まで覆う免荷装具の併用を考慮する。
- ・Plantigradeが不可能な症例では、とくに免荷効果が得られにくい。

足の特徴

- ・内反足

中足部



貼付領域 遠位端：趾溝のラインまでとし足趾には貼付しない 近位端：踵まで貼付する
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く(短い側面に切り込みを入れると加工しやすい)

ポイント

- 急性期のシャルコー関節症の場合は荷重が禁忌となるため、フェルト免荷の適応外とする。
- 下腿まで覆う免荷装具の併用を考慮する。
- Plantigradeが不可能な症例では、とくに免荷効果が得られにくい。

足の特徴

- 足部シャルコー関節症 ・ 重度の扁平足*

*PCFD:Progressive Collapsing Foot Deformity

踵部

①潰瘍部のみを免荷する場合



②踵部全体を免荷する場合



貼付領域 遠位端：趾溝のラインまでとし足趾には貼付しない
近位端：踵まで貼付する
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く
 (短い側面に切り込みを入れると加工しやすい)

貼付領域 遠位端：趾溝のラインまでとし足趾には貼付しない
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域を含めて踵部をすべてくり抜く

ポイント

- フェルト単独での免荷は推奨されず、下腿まで覆う免荷装具との併用が基本となる。
- (歩行様式の調整は全免荷部位で重要だが) とくに踵部では免荷が不十分となりやすいため必ず併せて行うことが望ましい。

足の特徴

- 踵足 ・ 凹足 ・ 足部シャルコー関節症